



図281 米需給の市場メカニズム（概念図）

資料：各種テキストを参考に筆者が作成した概念図である。

注：1) 【1】は現状、【2】は規模拡大や技術革新によるコスト低減・生産性向上があって供給曲線が右下にシフトしたケース、【3】は水田の有する多面的機能等に対する消費者の理解が進み需要曲線が右方にシフトしたケースを示している。

2) 塗りつぶし部分のうち水色は消費者余剰、黄色は生産者余剰である。なお、【1】のハッチ掛け部分は、米価が均衡水準より高い場合を示している。

出典：フード・マイレージ資料室 <https://food-mileage.jp/>